

【問】教職員が業務の多忙化、煩雑化等により、児童生徒と向き合う時間や授業準備等に十分な時間を割くことができない現状を改善するため、県が全県での共同調達・共同利用を実施しようとするもので、本市も6年度から参加したいと考えている。

【質】向能代公民館改築事業費の概要は。

【答】6年4月1日の閉鎖後に建物を解体し、現在の位置から後方へ移動した場所に建築し、道路側に駐車場を整備するものである。部屋の配置等については、現在の事務室を縮小し、研修室、調理実習室等の面積を広くする設計となっている。

【質】部活動地域移行業務委託料の内容は。

【答】地域クラブの登録や移行したクラブのフォロー及び指導者の研修を行う運営団体に対する運営費である。

【質】新たに地域移行が可能な団体への対応は。

【答】各団体の状況を確認し、必要に応じて助言等を行い、予算の不足が見込まれる場合には補正も検討してまいりたい。

【質】能代市グラウンド・ゴルフ場の維持管理費の内容は。

【答】主なものは、芝生管理業務委託料、休憩所等リース料、管理人人件費となっており、金額として1620万円を見込んでいる。

【質】能代市総合体育館大規模改修事業費の工事スケジュールは。

【答】体育館は6年7月1日から1年間、そのほかの軽運動場等は6年10月1日から7年6月30日までを工期として考えている。



能代市総合体育館

【質】学校給食費物価高騰対策支援事業費の内容は。

【答】現在、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、食材費上昇分11%の支援を行っているが、食材の値上がりが続いていることから、4月から3%を上乗せした14%を市単独で支援しようとするもので、支援額は1食当たり小学校38円、中学校45円となる。

(藤田拓翔)

産業建設委員会・分科会

系を構築し、土壌病害の発生抑制に取り組みとするものである。

【質】J-クレジットの販売予定量は。

【答】要件を満たす市有林200ヘクタールを対象として、二酸化炭素吸収量としては平均900トンを見込み、全量販売を考えている。

【質】資源ごみの処理に係る経費と売払い収入は。

【答】経費としては資源ごみの回収運搬業務が約350万円、分別や保管を行うリサイクルセンター管理費が約3100万円、売払い収入としては約1037万円を見込んでおり、売払い収入に対し、処理に係る経費が掛かり増しになっている。

【質】農地ばぐりっこ対策補助金の内容は。

【答】連作に伴うネギの軟腐病等土壌病害を回避することを目的として、作付転換が図られたネギの農地の面積に応じて補助金を交付しようとするものである。

【質】能代版防除モデル実証補助金の内容は。

【答】従来のネギの防除体系ではなく、薬剤や資材の組合せを試すことなどにより、能代の土壌に適した防除体

【質】次世代エネルギー等脱炭素化・活用事業の内容は。

【答】次世代エネルギー活用による公共施設の脱炭素化を目指して調査しようとするもので、電力使用量の多い市内3か所の共同調理場を対象に再生可能エネルギー等の導入について検討するものである。昨今の電力料金の高騰の影響緩和や災害時対応としての公共施設のレジリエンス強化等を期待している。

【質】七座遊歩道・案内板設置実施設計業務委託の内容は。

【答】七座山には市道からすぐアクセスできる場所に自生する天然秋田杉があり、より観察しやすいよう、遊歩道や案内板を整備するための実施設計を行おうとするものである。

【質】能代市浄化槽整備事業について、当初見込んだ設置基数よりも大幅に減少した要因は。

【答】事業開始から30年以上経過し、浄化槽を使用したいと考えている方の大多数が設置済みで、未設置の方は現状に満足しているのではないかと考えている。